

3 研究内容

1) 研究授業を通した指導法の研究

(1) 教科担当教員の公開授業（算数科）

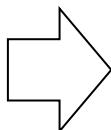
指導案検討と視点を明確にした研究協議により授業力向上を目指す。

全体取組の確実な実行と定期的な検証を行う。

(2) 授業改善プランに基づいた授業実践

○目指す児童の姿

- 1 自ら問い合わせをもち、粘り強く問題を解決しようとされている。
- 2 根拠を基に数学的な表現を使って自分の考えを説明している。
- 3 対話的な活動をしていく中で、自分の考えを深めたり広げたりしている。



○1年間の取組の重点（全学年共通）

- 1 問いを持たせるような課題設定や発問等の工夫、改善を図る。
- 2 各学年の算数用語を確実に抑え、対話の中で論理的に伝え合わせる。
- 3 本時で育成する資質う・能力にあった適用問題に取り組ませる。

(3) 講師招聘・研修計画（別紙）に沿った校内研修の推進

年3回の講師招聘を行う。

(4) 授業評価アンケートの実施と検証

(5) 各種学力テストの分析による授業改善

分析結果の共有と課題改善に向けた取組の確認と定期的な検証を行う。

2) 主体的・対話的な学びにつなげるための取組

(1) 主体的な学びにつなげるための取組

- ①授業の流れが分かる進行表の活用と学習リーダーの育成
- ②問い合わせが生まれる課題設定の工夫
- ③主体的な学習につながるまとめと振り返りの充実

(2) 対話的な学びへの取組

- ①学習リーダーを中心とした伝え合い活動（とも学び）
- ②必然性のある対話の場面設定
- ③相互的な対話になるための働きかけ

3) 表現力を身に付けるための取組（言語活動の充実に向けて）

- ①教育活動全体での言語活動の充実
- ②ICT機器や発表ボードの活用と掲示の方法の工夫
- ③目的に応じた方法を用いて考え方表現し、算数用語を使い論理的に説明できる力の育成
- ④学習のまとめや振り返りの充実
- ⑤学習規律やノートの使い方の指導の徹底

4) 基礎学力の定着と学力の向上

(1) 学力調査等による学力実態の分析

*課題克服に向けた加力指導

(2) 帯タイムによる基礎学力の定着

*国語タイム（月・金）・算数タイム（火・木） 13：35～13：45

(3) 個の課題に応じた支援の在り方の研究

*校内支援委員会での話し合いや情報共有

(4) 家庭学習の定着と充実

- ①低学年からの学習習慣の形成をめざした取組
- ②自主学習の手引きの活用
- ③自主学習ノートの交流（予習型の家庭学習へ）

(5) 読書活動の推進

- ①各学年の課題図書の設定・目標冊数の設定
- ②学期ごとの読書量把握と評価

5) 仲間作り活動の推進

(1) 児童が生き生きと活動する学級づくり

- ①Q-U アンケート・生活アンケートの分析と活用
- ②スクールカウンセラーとの連携

(2) 特別支援教育、人権教育、道徳教育、キャリア教育の推進

(3) 学校行事、集会活動、縦割り班活動

(4) 児童会活動、全校レク（みさきっ子タイム）